

会員自己紹介 No. 2 「研修リーダー」

研修リーダー 菊地 平

1933年11月生まれの80歳です。Eクラブ会員の平均年齢の倍近くを生きさせてきました、波乱万丈の人生ですから紙面が足りませんので、ごく一部を、後はおいおい書かせていただきます。

上海に10校の小学校がありその中で大正末期に建築された鉄筋4階建てで、プールあり、スチーム暖房付き、トイレは水洗。校門近くには二宮金次郎の像と馬上 豊かな楠木正成の銅像ありという上海第1国民学校に入学でした。それから、太平洋戦争勃発、黄浦江に閃光ありイギリスの旗艦ペテレル号が日本の旗艦出雲の 一斉射撃で撃沈など、見聞きしながら、小学4年には海洋少年団に入り上海陸戦隊に出入りする戦争少年だったのでした。20年前に上海に行きましたが、今でもこの学校は中国の中学校として使われていますし、我が家だったところは3世帯が入っていました。戦後まもなくラ物資の恩恵を経験～旧制中学から～新制高校へ何処を切り取ってもドラマになりそうです。2005年ガバナーとして「坂の上の雲」を経験しましたが、坂の上には「魔坂」もあって、08年会社を倒産整理～ロータリーを退会しました。～そして、今回多くの方がたの高度なご配慮いただき新生Eクラブに入会させていただきました。

～大きな事を成しとげるために、力を与えて欲しいと神に求めたのに～謙虚さを学ぶようにと～弱さを授かったのです。世の人々の賞賛を得ようとして、成功を求めたのに～得意にならないようにと、失敗も授かったのです。

～～さて、我がEクラブもやがて、チャーターナイトという誕生日を迎えます。

人に誕生日があるようにクラブにも誕生日があります。また一般に夫婦には結婚記念日があります。

実は、私たち夫婦は結婚式をしていないものですから、世帯を持った日時も定かではありません。結婚した日時をクラブに届出をするのに迷って、意味も無く終戦の日としました、それからは毎年「この暑い最中に結婚をした会員がいます」と紹介あって苦笑されたものです。

それでも、私は家内に言います「生まれ変わったら、また一緒になろう、そして同じ子供たちをわが子にしよう～」と。すかさず家内は言いました「もう探しに来ないで！今度はお金持ちがいいから」と。

これは小泉信三が、わが子海軍主計中尉・小泉信吉に宛てた手紙の抜粋です～～「吾々両親は、完全に君に満足し、君をわが子とすることを何よりの誇りとしている。僕は若し生まれ変わって妻を択べと言われたら、幾度でも君のお母さんを択ぶ。同様に、若しもわが子を択ぶということが出来るものなら、吾々二人は必ず君を択ぶ。人

の子として両親にこう言わせるより以上の孝行はない。君はなお父母に孝養を尽くしたいと思っているかも知れないが、吾々夫婦は、今日までの 24年の間に、凡そ人の親として享け得る限りの幸福は既に享けた。」～このことからきているのです。

結婚披露宴の祝辞は40年来これに決めています。

高校時代、父の事業失敗の影響から、卒業して就職試験には受かって、何処も採用されず、土方人夫の時を経て、かろうじて警察予備隊(自衛隊)に職を得たのでした。一選抜の進級を続けたものの、20歳で肺結核になり～入院除隊しました。会員増強に関して自衛隊の事も追って書いてみます。

何と不思議なことに4ヶ月でX線検査異常なしで退院。その頃父のやっていた学校巡回映画教室を手伝いながらの生活でしたから、貰い水・貰い風呂の6畳間借りの田舎での新婚生活でした。

啄木の歌を地で行くようなものでありました。「友がみなわれより偉く見ゆる日よ花を買いきて妻と親しむ」「働けどはたらけどわが暮らし楽にならざりじっと手を見る」冷汗三斗のおぼつかない生活。振り返って、いつでも涙と共に思い出すことです。

08年倒産した時に、友人たちが激励の宴を度々設けてくれましたが、妻はこう挨拶したものです「夫は地位も名誉も財産も全てを手離し無くしました～でもこの私だけは手離しせずに、残してくれました」～と。